

船迫中学校
学校だより 第8号
平成28年7月20日

そつ たく
啐 啄

啐は殻の中で雛が突つく音、
啄は母鶏が殻を噛み破ること。
またと得難い良い時期を意味する。

終業式 校長式辞



平成28年度、69日間の第1学期が今日で終了します。

この1学期みなさんの頑張りを多くのごとく見てきましたが、どの学年も本当に自分を磨いた1学期と思います。みなさんの活躍について、このあと教室で担任の先生から説明がありますので、聞いてください。

さて、始業式に私からみなさんに2つのお願いをしました。

1つめは明るい挨拶です。この挨拶は本校を訪ねてくれた方々みなさんが「船迫中学校の子どもたちの挨拶は素晴らしい、柴田町一番」とお褒めの言葉を頂いています。みなさんの普段の挨拶が地域の方々から認めていただき、本当に嬉しく思います。どうぞ、これからも明るく、笑顔で、相手の目を見てさらに活発な挨拶をお願いいたします。

2つ目は相手の事を感じとる、思いやりの心です。相手の事を考えた発言や行動ができたでしょうか。人はそれぞれ色々な思いや感じ方が人によって違います。相手の事を尊重し、友人関係や学級、学年、部活動など、どのように関わりを持つことが大切か考えてみて下さい。

では、終業式にあたりみなさんに「継続することの難しさ、大切さ」について話したいと思います。

みなさんと同じ中学校時代、人は誰しも勉強ができるようになりたい、運動ができるようになりたいという夢をもちます。そのため、毎日勉強しよう、毎日10ページ本を読もう、毎日3km走ろう、毎日素振りをしようなど多くの事を考えチャレンジします。しかし、大抵は3日坊主、いや1日で終わってしまうこともあり、そのような自分を情けなく思うこともあると思います。では、どうすれば継続してやることができるのでしょうか。今、大リーグで活躍しているイチロー選手が次のように話しています。

「僕だって勉強や野球の練習は嫌いですよ。誰だってそうじゃないですか。つらいし、大抵はつまらないことの繰り返し。でも、僕は子供のころから、目標を持って努力するのが好きなんです。だってその努力が結果として出るのはうれしいじゃないですか」他にも、「夢や目標を達成するには、1つしか方法がない。小さなことを、積み重ねること。」イチロー選手は小さい頃から「プロ野球選手になる」という目標をたて、そのために今何をすべきか、今週は、1か月後は、1年後は、10年後はと、短期・中期・長期的な計画をたて、練習に励みました。当然諦めたくなることもあったと思いますが、具体的な数値目標を決めて365日中、360日激しい練習に取り組んだそうです。そして、家のあらゆる所に「プロ野球選手になる」という目標を掲示し、視覚からも刺激を与え練習に励んだそうです。

「勉強が出来るようになりたい」という曖昧な目標では、やはり継続することは難しいと思います。だから、具体的に「2学期の数学のテストで〇〇点以上をとる」そのためには授業では、家庭ではどのように取り組むか、その計画をしっかりと立てることが大切です。具体的に小さな目標を立て、それに向け日々努力していくことで、私たちは自信を持って、今度は大きな目的実現のために一つ一つの目標を着実に実現していくことができます。

明日からの夏休みそして、皆さん一人ひとりのこれからの充実した生活のためにも、目的を持って生活してみてください。その励みとなるのが8月上旬から始まるリオオリンピックです。選手のこれまでの頑張りと努力を想像しながらみんなで応援したいと思います。選手たちのスポーツに取り組む目的は自己の記録更新もあると思いますが、「この日本を明るく元気にする」という大きな目的があるように思います。では、みなさん、この夏休み、学習、部活動、駅伝そして将来の自分のために小さな目標を一つ一つクリアしていきましょう。

柴田町立船迫中学校 校長 山田 幸秀